

連続
フォーラム

地域課題からみた学校教育の将来像

第2回

これからの
薬の教育の
あり方



講師 薬剤師・チベット医

お がわ やすし
小川 康 先生

日時

2021年 2月17日(水)

14:00~17:00

参加無料

※タイムスケジュール等、詳細は裏面をご覧ください。

場所

ZOOMによるオンライン配信 (先着100名限定)

下記の申込先にメールで「小川先生オンライン配信希望」とお申し込みください。
折り返し招待状をお届けします。

また予めミーティング用ZOOMクライアントをダウンロードしてください。
ダウンロード先は⇒ <https://zoom.us/download>

上越教育大学・教科内容先端研究センターでは、グローバル時代の知識基盤社会にふさわしい、次世代の学校教科の内容について研究・開発を行っています。このたび、地域の課題解決に貢献する教科内容を考えるため、連続フォーラムを開催します。

今回は、薬剤師で、日本人で初めてチベット医（アムチ）の資格を取得された小川康先生を招いて講演していただきます。今後、日本に求められる薬教育とは、薬と自然のつながり、社会との多様なつながり、過去の歴史に学び、未来へと新しい薬の文化を想像する学びです。「つながり」がないものへの教育は、当然、その「モノ」だけにおける一義的な知識の伝達で終わり、学習者の内面的な変化や、他者との共感などへ発展するチャンスは訪れない。これからの薬教育とは、薬の服薬指導だけではなく、さまざまな教育に本質として働きかける可能性を持っている。さまざまな分野の学問と薬を関連させ、さまざまな分野の専門家と知的共感を生み出すことができます。本講演会では、ヨモギやキダハなど薬草に親しむことから始まり、生薬に含まれる化学式を学び、薬草を育てたりハーブ、アロマなど生涯学習の対象として薬教育のあり方、学校教育との新しい連携のあり方、とくに生活科・理科・社会科・保健体育・家庭科・化学や総合学習、その他の教科との連携のあり方について講演していただき、参加者による討論をおこないたいと思います。

地域での薬（くすり）の教育に携わる方々はもちろん、薬（くすり）に関心のある方々のご参加をお待ちしております。

タイムスケジュール

TIME SCHEDULE

13:30～	ZOOMでの参加受付の開始
14:00～14:10	趣旨説明
14:10～15:40	小川康先生の講演「これからの薬の教育のあり方」
15:40～15:50	休憩（10分）
15:50～17:00	トークセッション 「これからの薬の教育、そして学校教育のあり方」

PROFILE

お がわ やすし
講師 小川 康 先生

東北大学薬学部を卒業後、北海道留寿都農業高校の理科講師、黒姫和漢薬研究所を経て、インドに渡航し、チベット医学暦法大学・メンツインカンに入学、チベット医（アムチ）の資格を得て卒業、早稲田大学文学学術院・修士課程教育学コースの山西優二ゼミで多文化共生・持続可能な開発を研究し、論文「薬教育に関する総合的研究」で修士号取得。現在、森のくすり塾を主宰。これまで奈良女子大付属高校（スーパーサイエンスハイスクール）、長野県飯山高校、栃木県下野市祇園小学校、大分大学付属小学校などで“くすり”に関する授業を実施。著書として『僕は日本でたったひとりのチベット医になった～ヒマラヤの薬草が教えてくれたこと』（径書房）、『チベット、薬草の旅』（森のくすり）。

申込・問合せ先

上越教育大学教科内容先端研究センター
メール：kyoka-cen@juen.ac.jp

